

一壺間は十歳以下二箭半、十歳以上三箭たるべし、衰尺は三箭半より半箭づ、倍し、四箭、四箭半、五箭より十箭までにて投べし。

〔投壺指南〕大壺常投格籌勢名目

善算算位十五章以下中、本一算に褒

有初第一の 賞三純 有初連中第一中りて、第二の 賞二純

云、同一純 定四才何れの連中にて、第三の 賞二純 續前功一方先登して、一方

る一本中 本算ノミ 先登兩方とも投入たるを云、 賞二純 續前功一方先登して、一方

してあて 同一純 次登何れの前方にて、先登の次に中し 同一純 奇 有終第十二の終

賞五純 連中有終十二とつゞき中 同一七純 全壺十二箭皆中 總計三十純とな

矢籌貶除算位八章

磯きき 飛ひ 箭や 外へ 又また 箭や 出で 中ちゆう なりて 壺 算純除半 五何れの矢のにもは磯ききとす、次にしは、十算のものは

取、倚い 竿かん 何れの落れば、零、落れば、無、次に申りしかは、散、箭にとるべし、支し 磯き 十、十一、十二の箭入りか、

を、用、捨、して、眞の、入とす、横わう 壺こ 矢や 壺こ の上へ横にのりて居るを云、浪らん 壺こ 矢や 壺こ の中へ入

め、壺の口をくる、零、倒たふ 竿かん 矢や 落お ず、若し 算さん なく、有、文、除、く、べし、除 敗はい 壺こ 十二箭皆す

善籌別賞四章

驍せう 飛ひ 出で 底てい の正中にあたりて、外へ飛出なるなり、小豆入りし壺よりとび、驍せう 箭せん へ入りしなり、小

豆入りしは、二十純、小豆、躍う 龍りゆう 驍せう 箭せん のひきく、小豆の口をば、五純の賞たるなり、小豆入、降かう 龍りゆう 飛ひ

入の耳へ入りしは、七純の賞たるなり、耳へ、躍う 龍りゆう 驍せう 箭せん は、十純、小豆の口をば、五純の賞たるなり、小豆入、降かう 龍りゆう 飛ひ

入の耳へ入りしは、七純の賞たるなり、耳へ、躍う 龍りゆう 驍せう 箭せん は、十純、小豆の口をば、五純の賞たるなり、小豆入、降かう 龍りゆう 飛ひ